

平成18年度
防災功勞者知事表彰
- 活動事例集 -

奈良県

平成 18 年度
防災功労者知事表彰
- 活動事例集 -
目 次

- ・西大和 6 自治会連絡会（上牧町）…………… 1
- ・栗殿自主防災会（桜井市）…………… 8

西大和 6 自治会連絡会(上牧町)

～ 「地域の安全と安心」を目指して～

上牧町の西大和ニュータウン内にある片岡台 1 丁目、2 丁目、3 丁目自治会と桜ヶ丘 1 丁目、2 丁目、3 丁目自治会は、地域の安全と安心を目指して、各自治会が持つ共通の問題点を広域的に捉え、効率よく防犯・防災活動を行うため、連絡会を発足させて活動しています。

自主防災活動が災害・被害からの犠牲を最小にとどめるという経験則を基に、啓蒙活動や関係諸機関との協力を得て訓練活動を継続的に行い、また災害救出用資機材を順次備蓄することにより、地域住民の危機管理に対する意識改革を図り、地域の安全・安心感を提供しています。



ロクちゃん

1. 経緯

平成 7 年の阪神淡路大震災を契機に、地域ボランティア組織として西大和防災会議を発足させた。

その後、平成 14 年にこの組織を発展的に解消させ、ボランティアでなく自治会を主体とした西大和 6 自治会連絡会を発足させた。まず、防犯に関する地域住民の意識の確認のため、アンケート調査を実施し、活動の基本方針の参考とした。

翌 15 年には防災に関するアンケート調査を行った。その結果を踏まえ、町役場と調整を行い、独自の防災対策を推進するようになる。具体的には地震災害対策の一環として外部講師による講演会を持つと共に、災害救出器具の備蓄を開始した。

平成 16 年には救出用資機材の充実化を図ると共にコンテナ倉庫を購入・設置した。またその使用方法について説明会と訓練を実施した。一方、外部講師による勉強会も継続させると共に、独自の地震災害対策マニュアルを作成し、自治会員の啓蒙を図った。

平成 17 年には(財)自治総合センターの「地域安全安心ステーション整備事業」に応募し、評価され、助成金を頂いた。これ以外にも毎年消防署や消防団の協力を得て、防火訓練や救命訓練を実施している。

2. 組織

西大和 6 自治会の世帯数と人口は、平成 18 年 7 月末で、
片岡台 1 丁目 370(946)、片岡台 2 丁目 186(499)、片岡台 3 丁目 1,495(3,364)
桜ヶ丘 1 丁目 371 (953)、桜ヶ丘 2 丁目 454 (1,374)、桜ヶ丘 3 丁目 429 (1,144)
合計 3,305 世帯、8,278 人である。

西大和 6 自治会連絡会の役員は、6 つの自治会の会長・副会長の 12 名、事務局員 6 名およびボランティアとしての青色パトロール隊員 6 名の 24 名からなる。

自治会長・副会長は輪番制であり毎年変わるので継続性に欠ける。そこで組織を継続的に維持させるため、自治会長経験者を事務局員として常任させている。最近、青色パトロール隊員を募集した。

3. 予算

18年度予算は各自治会からの分担金 227,000 円と 17 年度繰越金 11,319 円の 234,019 円である。活動が活発になり、予算が不足するときは自治会に諮り、追加していただくことがある。

4. 活動内容

防犯と防災は切り離せないが、防災に関しては毎年定期的に以下の活動を行っている。

防災センター研修・・・・・・・・・・新年度の自治会役員を対象

防災マニュアル勉強会・・・・・・・・・・新年度の自治会役員・委員を対象

防犯防災懇談会・・・・・・・・・・地域の警察・学校・PTA・民生等関係諸団体と

防災センター研修・・・・・・・・・・シルバークラブや子供会と

(サバイバルキャンプ)・・・・・・・・・・(現在は桜ヶ丘 2 丁目自治会単独活動)

震災対策講演会・実技講習会・外部講師や内部経験者による講演・資機材取扱い訓練

初期消火訓練・・・・・・・・・・消防署・消防団の指導で訓練や消火器の詰替え・販売

救急救命講習会・・・・・・・・・・消防署の指導で訓練

防災マニュアルの見直し・・・・・・・・・・平成 16 年作成のものが陳腐化しないよう毎年見直す



防災訓練より



初期消火訓練より



5. 活動における課題と今後の進め方

1) 継続・持続性を持たす

自治会役員委員は毎年変わるが、根気よく継続させて、徐々に浸透させる。

2) 地域の温度差を理解する

6 つの自治会の集合であり、地区の事情により温度差があるが、認め合って推進する。

3) イベントへの動員

動員を図るため、関係諸団体と連絡を密に取り、楽しさを盛り込んだ活動にする。

西大和6自治会連絡会
地域安心安全ステーション



片岡台 1丁目



片岡台 2丁目



片岡台 3丁目



桜ヶ丘 1丁目



桜ヶ丘 3丁目



桜ヶ丘 2丁目

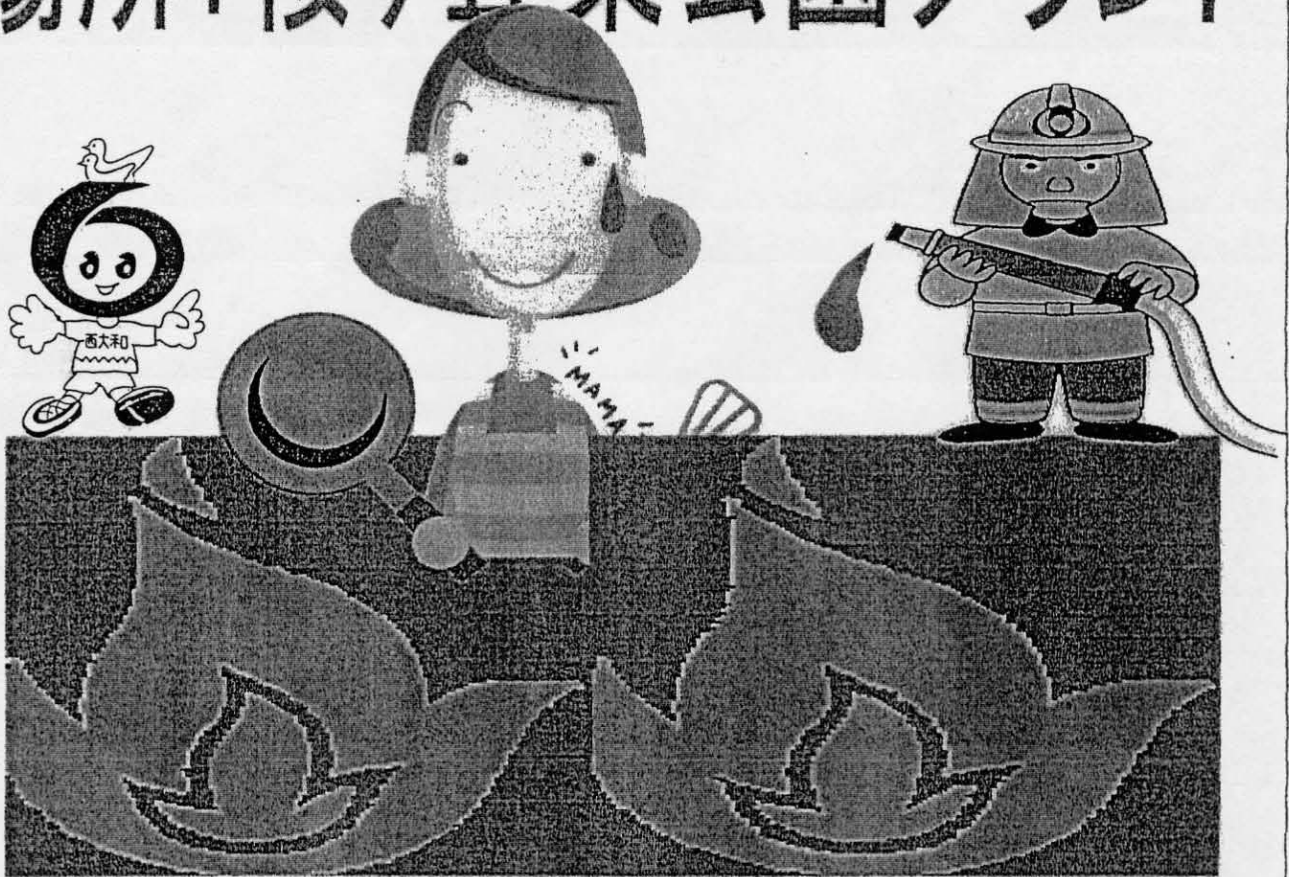


桜ヶ丘 2丁目

消火訓練

12月11日(日)9:30~11:30

場所:桜ヶ丘東公園グランド



放水体験・油消火訓練

子供バケツリレー参加者に粗品進呈

主催:西大和6自治会連絡会

防災対策講習会

平成17年9月17日(土)9:30~12:00

片岡台 3 丁目
コミュニティホール
お祭り広場



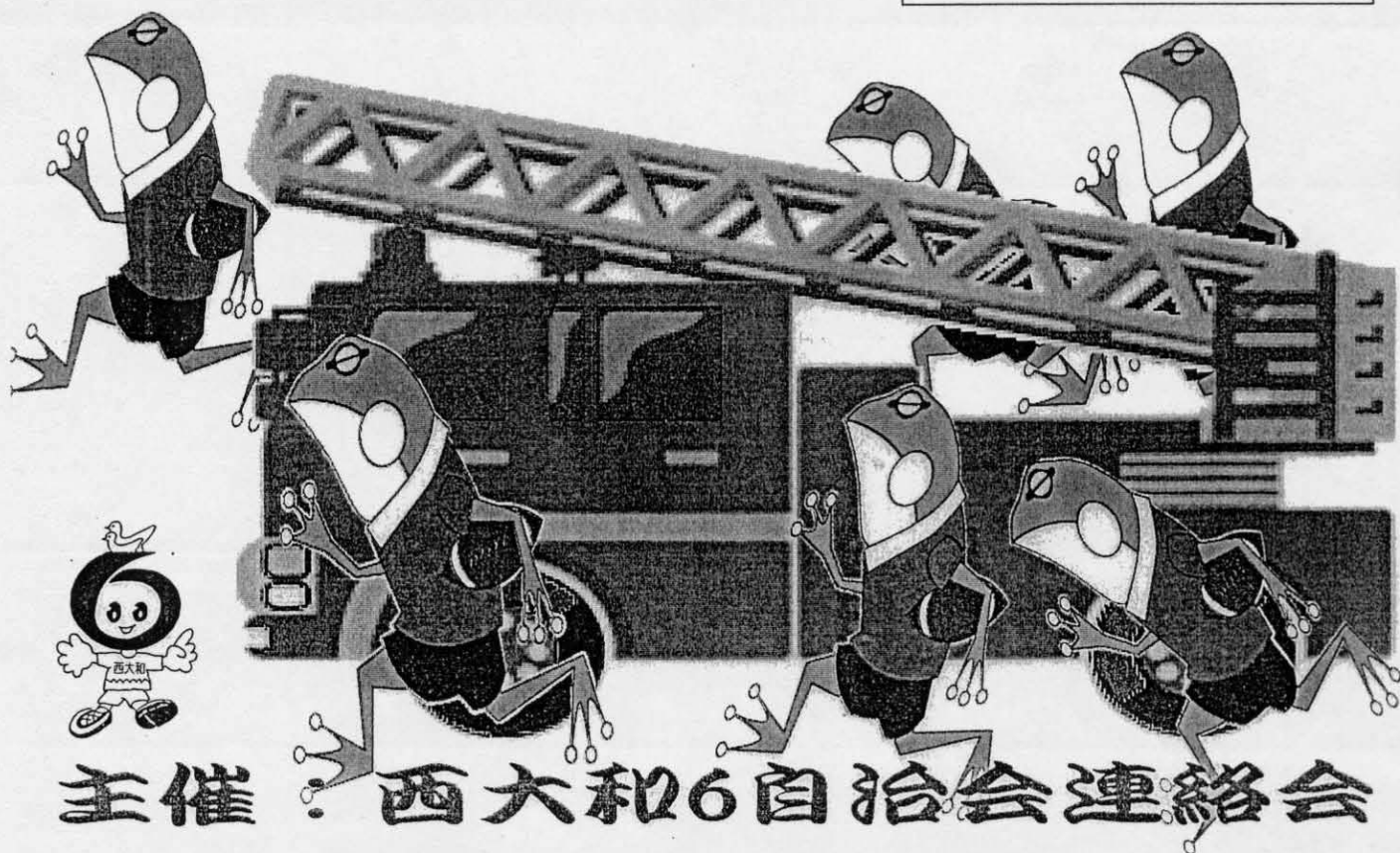
講演『奈良県の想定地震災害と自主防災について』

奈良県消防防災課

実技『給水車による水支給と最新の給水器具』
上牧町水道部

実技『救助車の展示・煙中体験・救出訓練』

西和消防署・南分署



主催：西大和6自治会連絡会

あなたの身を守る 地震対策は!!!

100年～150年周期 震度6以上
東南海・南海地震同時発生の恐れ
上牧町も「防災対策推進地域」に指定

各家庭で
日頃の備え
万全に。



安心、安全な街づくりを目指して
西大和6自治会連絡会

西大和6自治会連絡会に於いて「地震対策マニュアル」を作成しました。この資料はその一部です。ご家庭で大切に活用して下さい。

片岡台1丁目

片岡台2丁目

片岡台3丁目

桜ヶ丘1丁目

桜ヶ丘2丁目

桜ヶ丘3丁目

あなたの避難場所
避難場所への道順(赤)ラインを入れて下さい。
危険箇所は事前にチェックしましょう。

- 広域避難場所
- 公園、広場
- 災害資材置場
(各自記入しましょう)

地震の心配はあなたもみんなが国々!!!

家庭で防災会議を!! 地震が起きたらあなたはどうしますか

□下記項目ごとにチェックし、不備な点は補い、必要事項を各自記入しましょう。

▶家族で話し合いを(実施日 月 日・家族名)

- 各自身の守り方は
- 屋内で安全な場所はどこですか
- 火の始末、簡易消火器使用できますか
- 応急手当の仕方、知っていますか
- 家族が離散の時、連絡方法は
- 家族会議で決めたことを記入しましょう。



【月1回は、家族で話し合おう】

▶あなたの避難場所は(裏面の地図に記入しましょう)

- 場所
 - 1次(広場、畑など)○2次(広域避難場所)
- 道順、危険箇所は避けて行く
- あわてず落ちついてから行動を
瓦、ガラス、ベランダの小物等、落下物に注意
- ブロック塀には近付かない
- 近所にご老人、病弱、障害者の方おられませんか(有・無)
- 避難は集団で
- ラジオ、町の放送、自主防災組織等から正しい情報をつかみましょう。
- 近所ぐるみで応急救護等、助け合う連帯体制をつくろう。
- 避難訓練をやってみましょう。
- その他、家族会議で決めたこと。



▶屋内で家具等の転倒、落下防止と避難経路の確保は大丈夫ですか

- テレビ、ガラスケースは高い所に置かない(はい・いいえ)
- 棚やタンスの上に重い物は置かない(はい・いいえ)
- 照明器具、額縁、吊り棚の物が落ちないか(はい・いいえ)
- 大型家具の重ね部分ずれていませんか(はい・いいえ)
- 家具や本箱は金物等で固定していますか(はい・いいえ)
- ガラス戸が割れ、中の物が飛び出ないか(はい・いいえ)
- 外への避難経路が、家具の転倒等によりふさがれないか(はい・いいえ)
- 火元付近に燃えやすい物はないか(はい・いいえ)
- 寝室は大丈夫ですか(はい・いいえ)
- 避難時の履物はそろっていますか(はい・いいえ)



▶最低3日分の飲料水と食糧を確保しよう

＜1次持ち出し品と場所の確認＞

- 非常食品
- 医薬品
- 貴重品
- 携帯ラジオ
- 携帯電話
- 懐中電灯
- 衣類
- その他置き場所と各自の必需品

＜2次持ち出し品＞

- 食糧(3日分): インスタント食品、缶詰、調味料
- 飲料水: 1人につき1日3リットル目安(ポリタンク・ビニール袋)
- 燃料: 卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料
- 特別食: 乳幼児食品、お年寄り用、医者からの指定食

わたしたちは準備しました



【持ち出し袋】

男性15Kg 女性10Kg